港区議選

日本共産党６議席から４議席に（熊田ちづ子、風見利男、沖島えみ子、大滝実）

――― 訴えた公約の実現と捲土重来へ、いっそう頑張ります ―――

港区議会議員選挙の結果について

二〇一一年四月二五日　　日本共産党港地区委員会
日本共産党港区議員団

四月二四日投・開票でおこなわれた港区議会選挙で、日本共産党は、六人の現職をたててたたかいましたが、六期目をめざした星野たかし候補、四期目をめざしたいのくま正一候補が議席に届かず、全員当選を果たすことができませんでした。

区民のみなさんの大きなご支援をいただきながら、ご期待にこたえることができなかったことを心からおわび申し上げます。日本共産党への、物心両面にわたるみなさんの暖かいご支援、ご協力にお礼を申し上げます。

日本共産党の選挙結果は、得票数六、五八三票（前回比　六五四票減）、得票率一一・〇三％（前回比　二・〇一％減）でした。

選挙戦は、定数三四を五四人で争う多数激戦の厳しい選挙となりました。

日本共産党は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の救援・復興活動にとりくみつつ、今回の選挙が新しい日本の社会をきずく国民的なとりくみの第一歩となるようたたかいました。同時に、港区自身が被災地でもあり、震災をうけて港区の防災対策の抜本的見直しがするどく問われるなか、「いのち守る『福祉・防災優先の港区』を」かかげ、堂々と政策を訴えぬきました。「オール与党」が、具体的な防災対策や原発問題を語ることができないのとは対照的でした。そして、開発優先と森ビルなどへの補助金支出、毎年の国民健康保険料値上げにそろって賛成してきた「オール与党」の区政を変えることが求められていることをうきぼりにしてきました。

日本共産党が選挙で訴えた政策・公約には、区民のみなさんから少なくない共感と支持をいただきましたが、全有権者に訴えを届けきることができませんでした。

全党的には、昨年の参議院選挙の結果から、選挙活動のあり方の改革や党の自力をつける活動をめざしてきた途上で、あと一歩及ばぬ結果となりました。

日本共産党は、今回の選挙結果を真剣にうけとめ、区民のみなさんのご意見を真摯にうかがい、捲土重来を期する決意です。

そして、選挙戦で掲げた公約、「３つのゼロ」（保育園の待機児ゼロ、特養ホーム入所待ちゼロ、七五歳からの医療費無料化）をはじめ、切実な区民要望実現へ、区民のみなさんとご一緒に、全力で頑張ります。

また、これから本格的になる東日本大震災の救援・復興のとりくみ、国民の不安がつづく、原発事故からの危機打開や安全最優先の原子力行政、エネルギー政策の転換をはじめ、震災をのりこえ、新しい日本社会を切り開く国民的とりくみでも国民のみなさんと力を合わせて奮闘します。

日本共産党へのいっそうのご支援、ご協力をひきつづきお願いします。

区議会議員選挙日本共産党候補の得票

定数３４	順 位	氏　　名	得 票 数
当	１９	熊田ちづ子	１,４００
当	２６	風見利男	１,２３６
当	３１	沖島えみ子	１,０７４
当	３３	大滝　実	１,０１３
	３７	星野たかし	９５０
	３９	いのくま正一	９１０

■日本共産党港地区委員会は上記の見解を発表しました。

みなと民報
ご意見・ご要望は　３４５５－００５１　まで
２０１１年４月号外　発行　みなと民報社／海岸2-4-12／責任者　栗橋伸次郎